

《凡例》

*書簡の紹介・翻刻は、次の方針による。

一、松本論文・荒井論文・高野論文で用いた、石井鶴三宛書簡等に付した仮番号は、石井鶴三関連資料の整理・保存用に、信州大学附属図書館が付与したものである。

一、原則として、漢字は現行の字体に改め、変体仮名・カタカナの助詞は現行の平仮名に統一した。

一、改行は原文に従った。

一、ミセケチや挿入、改ページなど、翻刻者による注記は角括弧（ブラケット）内に示した。

一、行間の挿入等は、本文を反映するかたちで示した。

一、未読文字については、□で示した。